

令和 8 年度 第 1 回北栄町文化財保護委員会 議事録

日時：令和 8 年 5 月 28 日(木)

午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

場所：大栄農村環境改善センター 会議室 4

出席者：

【委員】 横濱 純一、中前 雄一郎、荒木 千彰、根鈴 智津子、渡邊 太

【事務局（教育委員会 生涯学習課）】 笠見 隆志（教育長）、渡辺 健二（課長）、福庭 克展（室長）、松本 崇史（主事）、牧本 哲雄（文化財専門員）

日 程

1. 開 会

事務局の進行により開会が告げられた。

2. あいさつ

教育長より挨拶が行われた。地域への愛着やアイデンティティの深化、次世代の子どもたちへの歴史・伝統の継承への抱負が述べられた。

3. 委員長・副委員長の互選

全員一致の拍手をもって、委員長に横濱純一氏、副委員長に中前雄一郎氏が選出された。また、新任の根鈴委員より着任の挨拶が行われた。

4. 報告事項

(1) 令和 7 年度実施事業について（資料 1）

委員長から昨年度事業の報告を求められる。

事務局：資料 1 に基づき令和 7 年度に実施された主要事業について成果報告を行う（文化回廊事業）

・「北栄町美術展」の開催期間に合わせイベントを集結。特別企画展「北栄町の文化財」（249 人来館）、お茶席（120 人参加）、齋尾家住宅限定公開などを実施し、合計 1,076 人を動員。

（文化財保護対策事業）

- ・文化財保護委員会を年 3 回実施
- ・歴史探訪ウォークを年 2 回開催
- ・齋尾家住宅限定公開を年 2 回などを通じ、町内 27 件の指定文化財の適切な維持管理と啓発を実施。
- ・コウノトリが人工巣塔にて営巣・産卵。成長を見守り、足環付けを適切に実施した。

（町内遺跡発掘調査事業）

- ・岡谷遺跡の試掘調査にて竪穴建物 1 基・古墳 2 基を新発見。
- ・六尾反射炉跡では初めて「付属建物跡」の一部を検出した。
- ・北尾地区では北条川改修工事に伴う試掘調査を実施、遺構・遺物を確認した。

【主な質疑応答・意見交換】

委員長：文化回廊事業のなかで行われた「ものづくり体験（45 人参加）」とは、具体的にどのようなことをしたのか。

事務局：「あつまらいや北条」の会員の協力のもと、子どもたちを対象に小さな椅子づくりやパズル体験を実施し、伝統的なものづくり文化に触れる機会を提供した。

(2) 国坂文化探訪ウォークについて（資料 2）

事務局：令和 8 年 4 月 18 日に開催されたウォークについて詳細を報告を行う。

（実施概要）

- ・参加者は計 39 名（町内 10 名、町外 29 名）。国坂・茶臼山周辺の約 5km のコースで計 8 箇所の解説を実施した。

（課題）

- ・町内参加者の伸び悩みという課題のほか、解説予定だった未指定文化財「①廻国供養塔」が、土地所有者の意向（傾きによる危険防止）により事前に撤去・処分されていたことが前日判明した。

【主な質疑応答・意見交換】

委員：廻国供養塔が撤去されていたとのことだが、そもそもこれはこういった歴史的意味を持つ石碑なのか。また、サイズはどれくらいのものだったのか。

事務局：江戸時代に流行した「六十六部廻国巡礼」を村の代表者が達成した記念・供養として建てられた石碑。町内には国坂のほか松神、北条島、曲などに現存している。サイズは高さ約 1,200mm で、表面に供養塔の文字、裏面に巡礼者の個人名が刻まれていた貴重な地域財産である。

委員：撤去されたことはショックだ。今後は解体や撤去が実際に行われる前に、事務局に情報が入るようなネットワークや仕組みを作っておくべきではないか。また、写真は残っているとのことなので、その記録や背景を町として後世に残してほしい。

事務局：大きな石碑なので、撤去されることがあるという意識がなかったことが反省点である。解体業者等に問い合わせをし、情報収集・リサーチの仕組みを検討したい。

(3) コウノトリの営巣について（資料 3）

事務局より、国指定特別天然記念物コウノトリのペア（ともに豊岡市出身）による繁殖・営巣状況、および本日（5月28日）実施された足環付け作業の最新結果が追加報告された。

（経過）

- ・3月19日に抱卵確認、4月16日に4羽の孵化を確認。

（本日の作業結果）

- ・本日、専門員の指導のもと足環付けを実施。3羽の生存を確認。1羽目 3,338g（全長 89cm・オス推測）、2羽目 3,003g（全長 84cm）、3羽目 2,808g（全長 87.3cm）。今後、DNA 検査で性別を確定させる。

【主な質疑応答・意見交換】

委員：コウノトリが営巣している場所はどこか。

事務局：比山の人工巣塔に営巣している。すでに「Google マップ」にも「コウノトリの巣」として登録されており、検索が可能。本日も無事に作業を終え、親鳥が巣に戻ったことを確認している。今後も温かく見守りたい。

5. 協議事項

（1）令和8年度事業計画について（資料4）

委員長から今年度事業の報告を求められる。

事務局より、資料4に基づき令和8年度の事業計画および発掘調査計画について説明を行う。

（文化財保護対策事業）

文化財保護委員会（3回）、地域財産発掘調査委員会（1回）、齋尾家住宅限定公開（2回）、歴史探訪ウォーク（次回 11/7 六尾・瀬戸地区）、鹿子探検隊（3月）、西穂波 16 号墳の説明看板設置などを計画。

（埋蔵文化財関係発掘調査）

以下の4箇所を試掘・確認調査を実施予定。

- 1) 北尾堤前遺跡：河川拡幅・町道改良に伴う試掘（11～12月）
- 2) 六尾反射炉跡：付属建物跡の規模・性格確認のための拡張調査（9月下旬～11月上旬）。鉄滓の成分分析や11月頃の現地説明会を予定。
- 3) 由良遺跡：個人住宅建設に伴う試掘調査（6月下旬～7月上旬）
- 4) 東亀谷地内：太陽光パネル設置工事に伴う試掘（7月頃、1か所）

【主な質疑応答・意見交換】

委員：資料の図 1（北尾堤前遺跡）にあるトレンチ予定地（T8・T9）について説明してほしい。

事務局：県道上井北条線の改良工事に伴う道路付け替え予定地（新しく土を盛る台施工の範囲）を対象としている。工事施工に先立ち、該当区域の事前試掘調査としてトレンチを 2 箇所設定し、慎重に進めていく。

6. その他

特になし。

7. 閉会

事務局より閉会が告げられ、すべての議事を終了した。